

様式 3

令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（35） 学校名 豊田市立東山小学校

1 テーマ

地域の教育力を生かした「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成
～地域連携、異学年交流、健康教育を通して～

2 ねらい

本校は、家庭環境が複雑な児童もあり、健康面で不安を抱える児童が見られる。また、地域行事で児童が集まる機会が減少しており、地域で活動したり異学年で活動したりする時間は限られている。そこで、地域ボランティアを活用したクラブ活動等や縦割り班活動としてのわくファミ活動、健康づくりを目的とした保健活動に取り組み、「知・徳・体」とバランスのとれた児童の育成をめざす。

3 活動内容

①地域ボランティアを活用したクラブ活動等

1 あるクラブ活動のうち、日本舞踊・茶道・体力づくり・フラッグで外部講師を招聘した。各分野において専門的なスキルを有する地域講師や美里スポーツクラブ体育指導員らを講師とすることで、児童の興味関心を高め、活動の魅力を伝えた。

また、読み聞かせや登下校見守りボランティア、授業ボランティアを保護者や地域から募り、活動していただく中で、児童との交流を図った。

②わくファミ（縦割り班活動）（年12回）

全校児童で異学年の縦割りグループを構成し、その活動を年間計画に位置付けた。6年生が中心となって運動や遊びを考え、人との関わりを大切にしながら、異学年交流を図った。

③保健活動・保健授業

学校保健大会（年1回）・ヘルシー貯金（年3回）・姿勢強調週間（年3回）などの取組を通して、基本的生活習慣と健康な生活に向けての意識を高め、実践力を育てた。また、命の授業を通して、児童が命の大切さについて見つめ直す機会とした。

4 成果と課題

地域講師やボランティアの方々の協力を得ることで、クラブ活動（年5回）、読み聞かせ（年7回）、校外学習、学校保健大会など、地域ぐるみの教育が、概ね計画通りに実践できた。専門的で丁寧なサポートにより、児童の意欲も高まるとともに、「わかった」「できた」「もっとやってみたい」と充実感を味わうことができた。さらに感謝の会の計画等、「知・徳・体」における成長を感じられた。保護者を含めた多くの地域ボランティアに支援していただくことが、地域ぐるみの教育の一助となっている。

また、校内整備員のきめ細かな環境整備が、安心安全な教育活動につながっている。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校ホームページに事業計画を掲載し、活動の様子を紹介した。（計18回）
- ・学校だよりで、随時活動の様子を紹介した。（計13回）